



10/20-21 委員会視察に行ってきました。

厚生委員会の視察で三重県四日市市と愛知県大府市で高齢福祉について視察をしました。

●四日市市では「地域包括支援システムの構築」をテーマに、町会組織が中心に立ち上げ民間の社会福祉法人と協力した「地域完結型生活支援サービス ライフサポート三重西」の高齢者の日常生活を住民同士で助け合うしくみや見守りのしくみについて話を伺いました。さらに、地元の社会福祉法人が法人の地域貢献として立ち上げた「まちかどふくし相談室」と、コミュニティカフェの機能を持ついきいきあしん生活館「ぬくみ」を見学しました。

●大府市では「大府健康長寿サポート事業」をテーマに、認知症の発症の予防や遅延を目指す高齢者全住民を対象とした「健康チェック」や、「スマイル教室」などの各種教室などを行っています。地域全体で認知症予防に取り組む意識づくりを行っていることについて、職員の方の話を聞きました。



政務活動費を使った視察で、群馬県みなかみ町の「里まち連携」や、カーボンオフセット(都市部が、里山に植樹するなどして、二酸化炭素の排出量を相殺する試み)「中野の森プロジェクト」について視察をしました。「中野区の伝統工芸の職人の方との交流も始まったたくみの里にて、みなかみ町で古い街並みを復活させ、伝統工芸の職人の方を集めて、訪れる人に伝統工芸品の製作過程を見てもらったり、実際に体験してもらったり取り組み」や、「廃校を使って団体での来街者に活動場所や宿泊場所を提供する施設」、「カーボンオフセットのために中野区がみなかみ町で植樹を始めた『中野の森』」などを視察しました。

決算委員会厚生分科会(27.9.28~30)

- ・「地域支えあいネットワーク」の高齢者や障がい児・者の見守りについて、町会での見守りに加えて、旧来の「元気でネット」の協力員(ボランティア)や、協力機関(登録事業者)も活用し、協力者を増やす形で、より多くの目で見守る体制をつくるべきではないかと質問しました。
- ・介護予防啓発事業等について、女性と比べて男性の参加が少ないことを指摘。かつて高齢者福祉センターがあったところは男性向けの教室を設けるとそれなりの男性の参加があったことを踏まえて、今後の介護予防の教室や講座についても男性が参加しやすいような内容や、名称設定などの工夫ができるのではないかと質問・提案をしました。
- ・26年度までは北部と中部のすこやか福祉センターにしか設置されていなかった障害者相談支援事業所について、これまでも業務量が非常に多かったことを踏まえて、27年度から鷲宮すこやか福祉センターで、そして今後南部すこやか福祉センターでも障害者相談支援事業が始まることについて指摘。窓口の数が増えても、各すこやか福祉センターの窓口のマンパワーを縮小させることがないよう要望しました。

メディアに掲載されました!

「季刊アドボカシー」No.2(2015年10月8日発行)の「特集:動き出すセクシュアルマイノリティの人権政策-多様性を認め合い、誰もが生きやすい社会へ」にて石坂わたるの発言が掲載されました。

お話をうかがいます

中野区議会内では、無所属議員控室に在室しています。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、おうかがいします。



不安と孤立を見捨てない 石坂わたるの たつのご通信

中野区議会議員・無所属

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758
【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8874(無所属控室)

2015・秋号

http://ishizakawataru.net/
@ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

26年度一年間で見ると財政状況は改善していますが、長期的にはまだまだ楽観はできない状況です。限られた財源の中でも知恵を絞って一人一人の福祉と、多様性が保障された社会づくりを進めます。

- 決算についての総括質疑で**
- ▶ 医療的ケアが必要な障がい児の保育
 - ▶ 東日本大震災の被災者支援
 - ▶ 映画を活用した文化や情報の発信
- ※厚生分科会での質疑は4面に掲載しています。
- について質問をしました。(詳細は内面を参照ください)

26年度に中野区では……。

- ▶ 認可保育所の新設を含めた保育所の保育定員増対策が行われました。
- ▶ 新たに立ち上がった障害児通所支援施設「たんぽぽ」と「みずいろ」にて「放課後等デイサービス」などが始まり、障がいのあるお子さんの居場所が増えました。
- ▶ 平成25年に区役所庁舎での支援のワンストップ化(さまざまな部署の施策をひとつの窓口で相談できるような仕組み)が進んだDVに関する相談も前年度と比べて利用者数が上昇しました。
- ▶ 新規事業の就労意欲喚起等事業を利用した方の41.2%の方が就労をすることができました。

今後の課題は……。

- ▶ 26年度も新たな民間の力を活かす事業が増えました。サービスの向上につながる面もある一方で、行政から民間への引継ぎがスムーズにいかずに区民が困惑することや、受託事業者が限られた委託料で受託する仕事が増えすぎてしまうことも。区と民間との役割分担の整理や、区職員がしっかりと責任をもって民間との連携や業務のチェックをすること、区職員と民間職員とが必要に応じて垣根なく共に汗を流して区民のために働くことが必要です。
- ▶ そして特定の部署に限らず、職員の超過勤務手当が多い部署がかなりあり、中には常勤1名分のコストを上回る超過勤務手当がかかっている部署もあります。こうした部署については仕事の内容、仕事のやりかた、分野内のあるいは分野間の分担についての検討や、場合によっては人員配置の見直しや人員増などの検討も必要です。



石坂わたる
1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校教員などを経験し、平成23年中野区議会議員選挙にて初当選(現在二期目)。精神保健福祉士、行政書士。

26年度決算が認定されました。

メールニュース配信中!

議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。
09wishizaka@mbr.nifty.com

たつのご通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。

通信を郵送します!

ボランティア募集!

中野区内でのたつのご通信の配布、郵送準備などをお手伝いください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません(50程度から可能)。

TEL&FAX(事務所) 03-6304-8758
TEL(無所属控室) 03-3228-8874
MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのご通信(テープ/DAISY CD)をご用意できます。

不安と孤立を見捨てない **石坂わたる**

一般質問(27.9.14)
平成27年第3回定例会(9.10~10.16)

区民の財産である図書や史料・資料を より区民が利用しやすく!

石坂 歴史民俗資料館の史資料のデータを区立図書館や学校図書室に情報提供し、司書によるレファレンスの機能を拡充すべきではないでしょうか?

田中大輔区長(以下区長) 歴史民俗資料館の史資料情報提供は可能ですが、先立つ資料の整理が必要です。今後、区政資料センター及び歴史民俗資料館と相互の連携も図りながらレファレンス機能の向上を図りたいと考えます。

石坂 区役所の区政資料センターについて、広さを確保し、レファレンス的な機能を置くべきではないでしょうか?

区長 現状よりレファレンス機能を高めることは一定の広さも必要となるため新区役所整備の中で検討していきたいと考えています。

石坂 学校図書室の地域開放型学校図書館化や機能の拡充を進めるとともに、図書の情報を電子化して、学校図書館同士や区立図書館との情報共有を図ってはどうか?

区長 地域開放型学校図書館を整備するにあたり、区立図書館とのシステム連携を図ることによって図書の貸し出し返却を行うほか、レファレンスの強化を図る考えです。

補足説明

中央図書館・地域図書館、区役所内の区政資料センター、小中学校の学校図書館、歴史民俗資料館等には様々な図書や史料資料があります。しかし、これらの図書等の施設間相互の情報共有が十分になされていない現状にあります。



発達障がいや高次脳機能障がいの者の 支援の拡充を

石坂 現状の制度では発達障がい者や身体障がいのない高次脳機能障がいの場合、障がいに応じた専門相談の後は、区内に一か所しかない精神障がい者の地域生活支援センターの利用対象となります。施設の構造やスペースの都合で、全利用者が多くの時間を一緒に過ごしているという課題があります。(一口に精神障がいと言っても、統合失調、発達障がい、高次脳機能障がいでは必要な支援が異なり、個々の様々なニーズに対応することが求められます)

発達障がい者や高次脳機能障がい者への居場所提供、必要なりハビリテーション場所、日中活動場所の確保について今後どう取り組みますか?

区長 発達障がいや高次脳機能障がいの専門相談を実施し、都の支援機関を紹介するなど、関係機関と連携しながら状況に応じた支援を行っています。高次脳機能障がい当事者や家族の活動支援を開始したところであり、その活動状況も踏まえて、今後の支援の在り方を更に検討していきます。

補足説明

学校卒業以降の年齢の発達障がい者について、すこやか福祉センターが継続的に関わっているケース数は8件。学齢期に保護者了解の下、発達障がい児として、通級の情緒障がい特別支援学級あるいは、個別支援計画を作成して通常学級での支援を受けているお子さんの数と比べるとその数は少ないと思われる。

また、高次脳機能障がいでも身体にも障がいがある場合には障害者会館で生活介護や自立訓練を受けられます。しかし、高次脳機能障がい、精神の障がいのみの場合や、成人で知的能力の低下があった場合は、精神障がい者の扱いとなり、区内では専門的な受け入れ先がありません。

【用語解説】

高次脳機能障がい 事故や脳血管障がいなどによる主に脳の損傷によって起こされる様々な神経心理学的障がい

現在策定中の新たな中野をつくる 10か年計画へのデータ分析の活用について

石坂 本年4月21日に国が「RESAS(リーサス)-地域経済分析システム-」の提供を開始しました。区独自の統計資料等との整合性も考慮してリーサスの分析を進める必要があります。新たな10か年計画の策定にあたり、リーサスを用いて、他区との比較を含めた中野区の現状分析をしましたが。

区長 10か年計画の改訂にあたって、人口・世帯の動向や施策に関わる様々なデータを用いて、中野区の現状の把握、分析を行ってきたところであり、人口構成や人口増減、人口推計については、リーサスを活用して他の自治体との比較を行ったところです。

石坂 今後、中野の弱みや強みを考慮したリーサスでのデータ分析や、その他の統計資料を、中野区の計画作成でどのように活かし、取り組みを進めていきますか?

区長 政策立案をするにあたっては地域の現状を客観的なデータで把握することはもちろん、強み、弱みを洗い出すことも必要なことです。今後ともリーサスを含め様々な統計資料を区の政策立案、計画作成に活用していきたいと考えています。

決算委員会総括質疑(27.9.25) (平成27年第3回定例会)

映画文化の振興や映画による シティプロモーションを

石坂 中野区では新人監督映画祭が行われています。こうした映画祭による文化の発信や地域活性における効果についてどのように考えていますか?

藤永益次 都市計画推進室副参事心得(都市観光・地域活性化担当) 地域イメージの向上や知名度アップ、また、若手クリエイターの育成支援などの効果が期待できると思います。今後も必要な支援を継続して行っていきたいと考えます。

石坂 映画「チョコレートドーナツ」のトラヴィス・ファイン監督が次回作の舞台候補地として中野区を視察したとの中野経済新聞

の報道がありました。「チョコレートドーナツ」はシアトル映画祭など10以上の映画祭で観客賞や最優秀作品賞などを受けた映画です。映画は映像を通して中野の風景を幅広く知ってもらう機会ともなります。ファイン監督の映画に限らず、今後中野を舞台とするような映画を誘致していくべきだと考えます。映画撮影に関する区の支援や仕組みの整備などをどのように考えていますか?

藤永 副参事心得 中野区を舞台にする口ケの誘致は映画を観た人たちの区へ訪れるきっかけにもなると考えます。撮影場所の情報提供や個別の相談を行っています。さらに一歩進んだ仕組みづくりについて他自治体の先行事例を参考にして検討していきたいと考えています。



東日本大震災に係る区内の 避難者の支援の継続を求める

石坂 現在中野区に数多くの東日本大震災の被災者の方が避難をしています。国や都の支援が縮小方向の中、中野区で暮ら続ける選択をした方が、仮住まいから退去をしなければならなくなった際には新たな支援が必要です。住宅相談や情報提供などの支援、生活保護や就労支援などの経済的な支援、PTSD(心的外傷後ストレス障がい)を含むメンタルヘルスのサポート、訪問を含むアウトリーチによる困りごとの把握や必要な支援に繋ぐことなどが必要となりますがどう対応をしますか?

豊川士朗 都市基盤部参事(都市計画担当) 登録不動産店の紹介や公営住宅等の情報提供をするとともに自ら物件を探すことが困難な場合には必要な支援をしていく考えです。

鈴木宣広 健康福祉部副参事(生活援護担当) 生活や就労の支援について必要な情報提供を行い、相談があった際は的確に生活状況を把握し適切な支援を行ってほしいと考えます。

石崎公一 鷲宮すこやか福祉センター副参事(地域支援担当) 引き続き社会福祉協議会

や町会・自治会、民生委員などと連携し、区職員による訪問活動や高齢者会館での活動などを通して被災者の方の状況を把握し、必要な支援を行います。

松本麻子 鷲宮すこやか福祉センター副参事(地域ケア担当) 震災直後から担当保健師が継続して相談に乗っています。その上で、必要な方には医療機関に繋ぎ、訪問看護やヘルパー派遣といった居宅サービスなど必要な社会資源を紹介、調整し、支援をしています。

朝井めぐみ 経営室副参事(経営担当) 東京都からの情報を区役所内で関連部署と共有するとともに、区内に避難されている方には月1回のペースで様々な情報をまとめて郵送をしています。今後、国や都の状況を見ながら、毎年度東日本大震災共同推進本部会議において支援の方針を決定し、体制を整えていきたいと考えています。

補足説明

中野区に避難をしている東日本大震災での被災者の方は27年7月1日現在で348人。

医療的ケアの必要な お子さんの保育の保障を

石坂 たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする学齢期の児童について、重度・重複障がい児を対象とする公設民営の障がい児の放課後デイサービス「たんぼぼ」は学童保育と同様に保護者が働いている時間に子どもが安心安全に過ごせる場所として利用できますか?

永田純一 子ども教育部副参事(子育て支援担当) そのような利用をしてもらえものと考えています。

石坂 医療的ケアが必要な乳幼児について、集団保育が可能なお子さんについては他の健常児と一緒に認可保育所での集団保育が望ましいと考えます。現状では入園の可能性についていかがですか?

古川康司 子ども教育部副参事(保育園・幼稚園担当) 現在区内では認可保育園の利用はあ



りませんが、医療的ケアの内容や程度によっては対応が可能な場合もあると考えます。

石坂 統合保育が望ましいことではありませんが、次善の策として、医療的ケアが必要なお子さんを含めて利用が可能な居宅訪問保育事業などを展開していくべきではないでしょうか?

濱口求 子ども教育部副参事(幼児施設整備担当) 障がい、疾病等の理由で集団保育が困難な乳幼児のお子様に対しては居宅訪問型保育事業によって保育サービスを行う予定です。

石坂 できるだけ通常の保育所で統合保育が行われ、それが難しい子の個別の保育ニーズも満たせる仕組みづくりを期待します。

厚生委員会(27.8.28,9.10)

(本会議閉会中及び平成27年第3回定例会)

・認知症高齢者や障がいのグループホームを増やし、地域で暮らす場の確保が必要だと質問しました。

・新たに始まる児童館での学童保育待機児の預かりについて、障がいのあるお子さんの利用がある場合には、通常の学童保育と同様に必要な職員を増員するように要望しました。

駅周辺等調査特別委員会

(27.10.14)

(本会議閉会中及び平成27年第3回定例会)

・中野駅南口地域で周辺道路より高い位置に新たに作られる予定の広場や公園について、ベビーカーや車いすの利用者がアプローチをしづらくならないように要望をしました。

石坂わたるの 活動報告



- 7月14、21、28日 早稲田大学エクステンションセンター「中野校」西洋政治思想」
- 7月17日 医師会納涼会
- 7月18日 小田実没後8年「ボンジョウム」中野特別支援学校ふれあい盆踊り、谷戸運動公園盆踊り
- 7月20日 東京国際レブヒアン&ゲイ映画祭
- 7月22日 中野：「プラチナ構想スクール」超高齢化社会について
- 7月23日 中野区視覚障害者福祉協会講演会「耳で読む!? デジタルを知ろう」
- 7月23日 DAI SYDNEY「アートを知らう」せせらぎ精神保健福祉講座「地域で生活することとは」
- 7月25日 中野区平和のつどい2015
- 7月26日 南台前原町会盆踊り
- 7月28日 放送大学単位認定試験「認知症と生きる」現代日本の政治、「現代東アジアの政治と経済」
- 7月29、30、31日 全道市町村国際文化研修所市町村議会議員研修「地方議員のための政策法務」政策実現のための条例提案に向けて」
- 8月1日 中野フレミアム緑日 成縁教職研究会
- 8月2日 わんぱく相撲全国大会(ホッパ)コソフみらい「みらいひろば」
- 8月3日 区内施設視察(障害児通所支援施設「たんぼぼ」)
- 8月4日 関東若手市議会議員の会研修会
- 8月10、11日 東京フレインホーリ
- 8月16日 全国若手市議会議員の会研修会
- 8月17日 中野区中学校PTA連合会との懇談会
- 8月19日 中野区中学校PTA連合会との懇談会
- 8月20日 コソフみらいNPO法人キリストア共催「夏休み学習会」
- 8月21日 区内施設視察(中野区障害者会館、東京都行政書士会納涼会)
- 8月23日 中野区水泳大会
- 8月25日 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会
- 8月27日 清掃事務所労働組合との懇談会
- 8月28日 学習会「高齢者の生活と支援を考える」の開催
- 8月29日 南台「丁目前原町会子どもみこしの手伝い」
- 8月30日 おちあい公園ピクニック
- 9月1日 行政書士倫理講習、戦争やだね中野ハレット
- 9月2日 区立第五中学校平和に関する授業
- 9月4日 平和の語り部派遣事業 参観
- 9月5日 高齢者会館「新山の家」まつり、公開フォーラム「認知症の終末期支援と暮らしを考える」中野立教会立教会大同窓会
- 9月6日 お茶会
- 9月8日 中野新明小学校 小中連携教育の算数の授業を参観
- 9月13日 南台「丁目前原町会」敬老会、NANO JAZZ FESTIVAL
- 9月18日 政治山「テモと政治参加に関する意識調査」
- 9月19日 ふらっと中野「ふらっと祭」
- 9月20日 にじいろそくそくピクニック
- 9月21日 エカイエワークショップ「まちづくりにワークショップでナンダ?」新山小まつり
- 9月27日 南台ヒルズ防災会避難訓練
- 9月28日 日本ムスリムコミュニティ講座、イスラム社会へのおもてなし、中野中野区にむけての発表会
- 9月3日 中野特別講座「選挙」
- 9月6日 精神保健福祉ポリアイア講座、医師会との懇談会
- 9月9日 国際福祉機器展
- 9月10日 中野みなみ保育園運動会、自治体議会での子育て支援学習会
- 9月11日 中野にむけてフェスタ、中野区立小学校PTA連合会、中野区発表会
- 9月15日 フラスにむけての発表会、フラス参加合唱の員として、フラス参加
- 9月15日 日本精神保健福祉士会ストレスチェック実施者養成研修
- 9月16、23日 他 生涯学習サポーター養成講座
- 9月17日 障害者福祉会館まつり、中野福祉作業所まつり、明治大学ヒューマンライブラリー懇談会
- 9月18日 南中野地区運動会
- 9月20、21日 厚生委員会視察(四日市市「地域包括ケア」大府市「認知症予防等」)
- 9月23日 中野区消費生活センター、東京都道整備事業推進大会、中野LGBTネットワークショップ、中野区共催「シンポジウム」すべての人が暮らしやすい中野区を目指して
- 9月27日 軟式野球連盟70周年記念式典(東京都人権啓発センター入館)に出会う「日」
- 10月1、3日 Reanimation
- 10月2日 みななかみ町視察(まち連携カーポイント「中野の移りソング」について)
- 10月23日 特別支援学級学級連合運動会、東北復興大祭典なかの「江古田子どもまつり」とりどり勉強会、特別支援教育のゆけな、かみそぎ、ふし、ふしフェスティバル、東部地区運動会
- 10月24日 特別展「棟方志功」なかの
- 10月25日 中野区消費生活センター、東京都道整備事業推進大会、中野LGBTネットワークショップ、中野区共催「シンポジウム」すべての人が暮らしやすい中野区を目指して
- 10月27日 軟式野球連盟70周年記念式典(東京都人権啓発センター入館)に出会う「日」
- 10月29日 中野区消費生活センター、東京都道整備事業推進大会、中野LGBTネットワークショップ、中野区共催「シンポジウム」すべての人が暮らしやすい中野区を目指して
- 10月31日 特別支援学級学級連合運動会、東北復興大祭典なかの「江古田子どもまつり」とりどり勉強会、特別支援教育のゆけな、かみそぎ、ふし、ふしフェスティバル、東部地区運動会
- 11月1、3日 Reanimation
- 11月2日 みななかみ町視察(まち連携カーポイント「中野の移りソング」について)